

2021年度

第17回お墓ディレクター検定試験

1 級試験問題

注意事項

- ①試験開始のアナウンスがあるまで問題用紙は開かないでください。
- ②試験時間は45分です。途中退席は認められておりません。体調不良などにより途中退席をする場合は各試験教室の試験監督官に申し出てください。
- ③机の上には、受検票、腕時計、鉛筆・シャープペンシル（HB～2B）とプラスチック製の消しゴム及び鉛筆削り以外のものは置いてはいけません。
- ④携帯電話・スマートウォッチを含む一切の無線通信機器の試験教室内での使用を禁止します。必ず電源を切り、カバン等にしまってください。
- ⑤解答は解答用紙に記入してください。また、マークシート方式ですので、記入の際は注意事項をよく読み、正しく記入してください。
- ⑥試験時間中の私語は固く禁止します。
- ⑦終了時刻がきたら、鉛筆を置いて解答作業を中止してください。また、係員が回収にくるまで離席は認めません。
- ⑧試験問題、合否、採点結果に関する質問は一切受け付けいたしません。
- ⑨試験監督官又は係員の指示に従わない者及び不正行為を行なった者に対しては、退室させることがあります。
- ⑩試験問題は各自お持ち帰りください。

正誤判定30題

◎次の各文が正しい場合には正の箇所を、誤っている場合には誤の箇所を、それぞれマークしなさい。

1. 広島県にある^{たいしやくきょう}帝釈峡の観音堂洞窟遺跡では縄文時代（約 8000 年前）の完全な埋葬人骨（屈葬）が発見されました。この埋葬人骨の上部に標識となる石灰岩の^{かくれき}角礫が積まれており、少なくともこの段階で「墓標」を設置する意識があったことが確認されている、というのは正しいでしょうか。
2. 『^{しよくにほんぎ}続日本紀』は 700 年に僧・道昭が火葬されたことを伝えています。天皇では 703 年に持統天皇が最初に火葬されたことが記録されており、この頃から、庶民の間にも火葬が普及していった、というのは正しいでしょうか。
3. 儒教が人生を現世限りのものとしたのに対して、仏教は、前世・現世・来世の「三世」にわたる因果関係が限りなく輪廻転生しているとする「三世報応の説」を説きました。儒教で説明できなかった不合理なこの世の「幸福」「不幸」の因果関係を見事に解決したことで、中国社会に広く仏教が受け入れられた、というのは正しいでしょうか。
4. 大乘仏教の「菩薩」となる資格には、6 つの実践科目の^{ろくはらみつ}「六波羅蜜」が必修です。では、六波羅蜜の中にある「忍辱」とは「苦難に耐え忍ぶこと」であり、「^{ぜんじょう}禪定」とは「たゆまず仏道を実践すること」である、というのは正しいでしょうか。
5. インド仏教では終わりのない^{ろくどうりんね}六道輪廻において、^{ぜんしやう}前生から次の^{ごしやう}後生までを、人（正確には一切の生き物＝一切衆生）は「四有」という 4 種類の形態をとる、とされます。では、この「四有」の中にある「^{しやうう}生有」とは誕生から死ぬ瞬間（刹那）までの一生のことである、というのは正しいでしょうか。
6. 十王信仰における^{しよなのか}初七日（第 1 週）では、^{もうじゃ}亡者は^{しでのやま}死天山（死出の山）に^{いた}到って^{しんこうおう}秦広王（^{ふどう}不動明王）の^{さば}裁きを受けます。では、^{なな}七七日（第 7 週）では^{へんじやうおう}変成王（^{みろく}弥勒菩薩）の裁きを受ける、というのは正しいでしょうか。
7. 古代中国では「百カ日」という名の^{もれい}喪礼（^{もれい}葬墓の儀礼）はありませんが、「百カ日」は死後約百日目くらいに行なう「^{そつこく}卒哭」の日にあたり、その習慣が日本で「百カ日」と呼ばれるようになったと考えられている、というのは正しいでしょうか。
8. お盆の根拠となる物語として、^{そんじや}仏弟子・目連尊者が^お餓鬼道に墮ちて苦しむ亡き母をみて、母への^{こうじゆん}孝順と母の慈愛の恩に報いる^{ほうおん}報恩の気持ちから、母を救いたい一心でおシャカ様に救済の方法を聞き、その言葉どおりに、多くの僧に盛大な供物をささげる供養によって無事、母を救うことが出来た、というものがあります。では、この物語が書いてある^{かんむりやう}經典は『^{じゆきやう}観無量寿経』である、というのは正しいでしょうか。
9. 「お盆」は仏教最大の国民行事といわれますが、現在では新暦の 7 月 15 日前後と 8 月 15 日（旧暦 7 月 15 日の名残り）前後に各地で行なわれています。では、この 7 月 15 日というのは、中国の道教の亡魂祭にあたる「^{げあんご}夏安居」と、インド仏教の「^{ちゆうげん}中元」の最終日に行なう人々の供養の日とがうまく重なり合って、中国で現在のような形が生まれ、日本に伝えられた、というのは正しいでしょうか。

10. 中国で初めて仏教の盂蘭盆会をしたのは538年、日本では約70年遅れた606年に行なわれた記録があります。また560年頃にできたという中国の『荆楚歳時記』という民俗誌の本には、お盆行事の様子が記録されています。では、この本の中で、当時は仏教の僧尼と道教の道士と大勢の民衆が集まって賑やかにお祭りをしていたことが記録されている、というのは正しいでしょうか。
11. 行基は近畿を中心に「四十九院」の寺（小規模な道場のようなもの）を建てたといわれます。では、この四十九院は火葬場を付設の設備とした説教場であったと考えられており、行基の勧進聖集団が積極的に官人や僧の「死」と「火葬」にかかわったとされている、というのは正しいでしょうか。
12. 野見宿禰を始祖とする土師氏は、皇族の死にともなって、近従者を殉死として陵墓へ生き埋めにする習慣を改め、「埴輪」に変える提言をすることで天皇をよろこばせ、以後それが習慣となった、というのは正しいでしょうか。
13. 重源の東大寺復興事業では伊行末をはじめとする中国・宋の石大工の活躍がありますが、その中でも重要なことは、それまで日本で主流ではなかった軟石を加工する技術がもたらされ、定着していったことである、というのは正しいでしょうか。
14. 天台宗は総合仏教ですから、いろいろな教えがあります。その中で最高の教えは『法華経』である、と開祖・最澄はいいます。では、この『法華経』の中には、「仏塔をつくり、供養すると無量の功德がある」と、いくつも説かれている、というのは正しいでしょうか。
15. 真言密教だけでなく、日蓮宗にも「即身成仏」という考えがありますが、日蓮は『上野殿後家尼御返事』という手紙の中で、「法華経にて佛にならせ給いて候う（法華経によって成仏させていただくのです）」と書いています。では、日蓮がいう「法華経にて」とは、「南無妙法蓮華経とお題目を唱えること」という意味である、というのは正しいでしょうか。
16. アメリカにおける火葬においても日本と同様、遺族が立ち会い、「収骨」「骨上げ」をするのが一般的である、というのは正しいでしょうか。
17. 感染対策法30条3項において「1類感染症、2類感染症、3類感染症又は新型インフルエンザ等感染症の病原体に汚染され、又は汚染された疑いがある死体は24時間以内に火葬し、又は埋葬することができる」と定められている、というのは正しいでしょうか。
18. 祭祀主宰者となる者の資格には限定はありません。姓が異なっても、また男性・女性の区別なく、承継者となることができます。ただ、民法第897条第1項には、祭祀主宰者の人数を限定する文言はないものの、通説判例は、同条の趣旨や文言から、2人以下が原則であると解されている、というのは正しいでしょうか。

19. 共同墓地など「墓地、埋葬等に関する法律（以下、墓埋法）」の施行以前から既に墓地となっていて墓埋法に基づく許可を受けていない墓地であっても、廃止された墓地及埋葬取締規則によって許可を受けた墓地は、墓埋法により許可を受けたものとみなされます。このような墓地を「みなし墓地」と呼んでいます。江戸時代からある共同墓地などは、墓地及埋葬取締規則による許可を受けていないものが多数ある、というのは正しいでしょうか。
20. 陸上で散骨する際、粉末にした焼骨を土に撒いた上に、土や枯葉等をかぶせれば、墓埋法第4条の「焼骨の埋蔵」に該当するので、墓地で行なわない限り、墓埋法に違反する、というのは正しいでしょうか。
21. お寺との折り合いが悪い等の事情から、埋蔵証明書の発行を拒否され、改葬許可申請が妨げられることがあります。このように埋蔵証明書が入手しがたい特別の事情があるときには、市区町村長が必要と認める「埋蔵証明書に準ずる書面」の提出で替えることができると定められている、というのは正しいでしょうか。
22. 分骨を行なうための手続きは、墓埋法施行規則に定められている通り、市区町村長の許可が必要になる、というのは正しいでしょうか。
23. 現在、石材業の墓じまい等から出る石材関連も産業廃棄物として扱われます。石材店が、この産業廃棄物の処理を無許可業者に委託した場合、石材店は3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金、または懲役と罰金が同時に科される、というのは正しいでしょうか。
24. 堆積岩とは、水中または空気中からの堆積作用によってできた岩石を言い、凝灰岩や砂岩などが含まれる、というのは正しいでしょうか。
25. 真壁石は茨城県桜川市の加波山系で採石されている花崗岩です。小目、中目の2種類があり、墓石、外柵、灯籠、土木、建築材など幅広く使用されている、というのは正しいでしょうか。
26. 納骨堂の経営資格についても墓地と同様に、民間の場合は宗教法人に代表される公益法人に限られている、というのは正しいでしょうか。
27. ビシャンは、目の荒い百枚ビシャンから順に、八枚ビシャン、五枚ビシャンをかけて石面を平らにしていく、というのは正しいでしょうか。
28. 切削機で使うブレードには人造ダイヤモンド入りのチップがついていて、水をかけ冷やしながら原石を切っていく、というのは正しいでしょうか。
29. 墓石施工時に、外柵や巻き石の四隅の角を含む三角形の各辺の長さが「4：6：10」の比率になっていれば、直角になっていることになる、というのは正しいでしょうか。
30. 酸系のケミカルは、特に無機質の汚れと反応して、良好な、洗浄力を発揮します。ただし、使用に当たって、ケミカルの種類によっては素材、鏡面等を劣化させる可能性もあり得るので、十分な注意が必要である、というのは正しいでしょうか。

多肢選択20題

◎次の各文の（ ）に入る語を①～④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。

31. 波羅蜜とはサンスクリット語「パーラミター」の音写で、漢訳では1字で（ ）とされたり、「到彼岸」とされます。
①空 ②到 ③此 ④度
32. 古代中国で生まれた「宗廟」では「魂」を祀り、「墳墓」では「魄」を祀りますが、「宗廟」にお骨は埋葬されず、その代わり「魂」が宿るためのシンボルとしての靈魂の「依り代」である木でつくった「神主」(=木主)を祀ります。これが後に日本へ伝えられた（ ）です。
①神棚 ②位牌 ③卒塔婆 ④玉串
33. 「三回忌」は死後25ヵ月日の命日で、これは『儀礼』や『礼記』にいう（ ）にあたります。
①小祥 ②中祥 ③大祥 ④祥月
34. 聖徳太子は生前から死後葬られるべき墳墓(=磯長陵)をあらかじめ築造していたとされており、生前、このような墓に入って一旦死んだことにして葬式するのが(34)の古い形といわれています。こうして一旦死んだことにして再生すると、健康で長生きするし、後生が良くなって人の世話にならずに安楽に死ね、その上、極楽に往生できるという信仰がある。このことを仏教では(34)といいます。
①戒壇 ②擬死再生 ③逆修 ④輪廻
35. 源信と共に活躍した慶滋保胤が撰した(『 』)は「聖徳太子伝」から始まり、次に「行基伝」があります。彼によって聖徳太子と行基の2人は、日本で初めて「極楽往生した人」と位置づけられています。
①往生要集 ②日本往生極楽記 ③続日本紀 ④三宝絵詞
36. 源信と慶滋保胤が中心となり、極楽往生を目指して結成された念仏結社のことを(36)といいます。この(36)の講式(=取り決め)として、『光明真言』で加持した土砂を死者の遺骸に置くこと、とあります。そうすることで、死者は生前の罪の重さに関係なく、真言の威力で安楽国(=浄土)に往生して、蓮華坐上に生まれ、菩薩位に登ることができる、と考えていたからです。
①高野聖 ②二十五三昧会 ③念仏衆 ④寺門派
37. 『法然上人伝記』には「亡くなって閻魔大王の前で名前を聞かれたときにナムアミダブツと唱えようと思って、自分の名前を南無阿弥陀仏としたのだ」という話がありますが、()もまた「南無阿弥陀仏」と名乗っていました。
①重源 ②忍性 ③空也 ④叡尊
38. 墓地又は火葬場の管理者は、毎月()日までに、その前月中の埋葬又は火葬の状況を、墓地又は火葬場所在地の市町村長に報告しなければなりません。
①1 ②3 ③5 ④10

39. 軟石なんせきの加工は、荒石、墨かけ、荒切りまでは硬石の加工と同じですが、軟石は「のみ切り」の加工工程で（ ）を使って高いところを突つき、ビシャンをかけたのと同じような状態にします。

- ①たがね ②のみ矢 ③突きのみ ④つる（とんぼ）

40. 杭打ち地業くいうにおいて、地盤の支持層まで杭を打ち付ける方法を（ ）といいます。

- ①摩擦杭 ②支持杭 ③松杭 ④根切り

41. 内垣石は（ ）です。

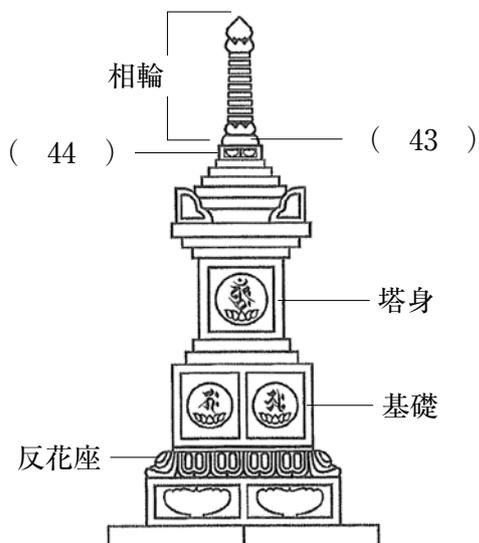
- ①福島県で採掘される安山岩 ②新潟県で採掘される安山岩
③愛知県で採掘される花崗岩 ④福岡県で採掘される花崗岩

42. 次の家紋は（ ）といいます。



- ①丸に四つ目 ②丸に平四つ目 ③丸に隅立て四つ目 ④丸に四つ目菱

◎次の図の空欄に当てはまる語を下の①～④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。



- ①露盤 ②請花 ③伏鉢 ④宝珠

◎次の文章の空欄に入る語を下の①～④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。

お釈迦様はご入滅にゅうめつの前に弟子たちに最後の説法をされました。それを記録した『大般涅槃經だいぱんねはんぎょう』の中で、お釈迦様は「世界を支配する帝王ていおう てんりんじょうおう（転輪聖王）の遺体を処理するのと同じように、修行完成者の遺体を処理すべきである。四つ辻に修行完成者の（ 45 ）をつくるべきである。誰であろうと、そこに花輪または（ 46 ）または顔料がんりょうをささげて礼拝し、また心を浄きよらかにして信ずる人々には、長いあいだ利益と（ 47 ）とが起るであろう」とあります。

45. ①宗廟 ②ストウーパ ③チャイティヤ ④神殿

46. ①灯明 ②飲食 ③水 ④香料

47. ①幸せ ②功德 ③廻向 ④繁栄

五輪塔の生みの親である（ 48 ）の代表作『五輪九字明秘密釈ごりんくじみょうひみつしゃく』には「五輪塔」が生まれる原理・理論が記載されています。この『五輪九字明秘密釈』のタイトルにある五輪とは「地水火風空」の五大で、「ア・ヴァ・ラ・カ・キャ」という（ 49 ）の真言のことを意味しています。次の九字とは（ 50 ）の「小呪しょうしゅ」といって「オン・ア・ミリ・タ・テイ・セイ・カ・ラ・ウーン」の九字でできている真言のことです。「五輪」と「九字」が真言であるのは、次の「明みょう」が「真言」「呪しゅ」「陀羅尼だらに」の意味だからです。ですから（ 49 ）と（ 50 ）の真言で、真言密教と浄土教のことを意味していることとなります。そして「秘密」というのは密教のことですから、次の「釈」と続けると、密教的解釈という意味になります。

48. ①覚心 ②行基 ③良源 ④覚鑿

49. ①阿弥陀如来 ②釈迦如来 ③薬師如来 ④大日如来

50. ①阿弥陀仏 ②阿弥陀経 ③金剛仏 ④大日経